

令和4年度共同募金運動 開始セレモニーを開催しました

今年も、10月1日に赤い羽根共同募金運動が始まりました。当日、岩手県共同募金会(長山洋会長)は、盛岡市共同募金委員会(米田ハツエ会長職務代理者)とともに材木町「よ市」を会場に、令和4年度共同募金運動開始セレモニーを開催しました。



セレモニーの出席者

セレモニーでは、長山会長の挨拶に続き、盛岡市共同募金委員会が制作し、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校が制作協力した「赤い羽根共同募金運動PR動画」の放映により、募金を呼びかけました。

続いて、寄付つき商品のPRとして、盛岡市共同募金委員会に協力いただいた、株式会社中原商店(邊龍雄代表取締役社長)によるぴょんぴょん舎の生マッコリ「セン」と、株式会社ベアレン醸造所(髙田洋一代表取締役社長)のフェストビール、岩手県共同募金会に協力いただいた株式会社紫波フルーツパーク(熊谷泉代表取締役社長)の赤ワインが紹介されました。

また、株式会社ベルジョイス(澤田司代表取締役社長)とサントリーフーズ株式会社東北支社(佐藤秀樹支社長)が協力している寄付つき飲料販売による寄付金779,458円が、ベルジョイスの相原孝一執行役員店舗運営部ゼネラルマネージャーから長山会長に贈呈されました。

募金運動は、来年3月31日まで行われます。皆様のご協力をお願いします。

一般社団法人生命保険協会岩手県協会 福祉巡回車両・車いす等が寄贈されました



車いす寄贈先の代表者と
野澤会長(左端)と村上副会長(右端)

10月19日、一般社団法人生命保険協会岩手県協会(野澤俊一会長)から、福祉巡回車両、車いすの寄贈と、障害者支援団体助成金の寄付をいただきました。

同協会からは、平成3年度から毎年、福祉巡回車両や車いすなどを

寄贈いただき、今回で32回目となります。福祉巡回車両は栗石町社協に、車いすは県内の障害者福祉施設など6箇所に、活動助成金は岩手県精神保健ボランティア連絡会に寄付されました。

岩手県社協の長山洋会長は、「厚く感謝申し上げます。いただいたご支援は、地域福祉の向上や施設利用者へのサービス提供、障がい者支援活動の充実のため、活用させていただきたい」とお礼の言葉を述べました。

皆様のご支援ありがとうございました

被災者支援、災害ボランティア活動をはじめ本会事業推進のため、ご寄付いただき感謝申し上げます。(敬称略)

- 匿名 200,000円 (8月29日)
- 株式会社北日本銀行 1,260,200円 (9月7日)

第75回岩手県 社会福祉大会を開催しました

10月28日、第75回岩手県社会福祉大会(主催:岩手県社会福祉協議会、岩手県共同募金会、岩手県民生委員児童委員協議会)を、岩手県民会館で開催し、社会福祉関係者等、約600名が参加しました。

式典では、物故社会福祉事業関係者追悼の黙とうが捧げられた後、県内社会福祉の推進に功績のあった個人428名、19団体、2組、1地区が表彰されました。また、「東日本大震災津波から11年～今ふるさとの地と人を想う～」と題し、被災地で住民の生活支援を続けられてきた方々の「様々な願い」に着目するトークセッションが行われました。

東日本大震災から11年が経過し、生活基盤の復興が進んだ一方で、地域からの孤立、孤独、生活困窮などの課題が複雑・多様化しており、共に支え合う新たなコミュニティづくりがますます重要となっています。こうした状況の中、「共に生き、共に支え合う福祉社会の実現」のため、大会宣言を採択し、閉会しました。



式典の様子

ふれあいランド祭2022を 開催しました

9月4日、ふれあいランド岩手において「ふれあいランド祭2022」を3年ぶりに開催しました。利用者と参加者相互の交流促進、ふれあいランド岩手の魅力やニュースポーツのPRを目的に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を実施する中で、延べ5,595名の方にご来場いただき、ふれあいマルシェやフリーマーケット、超人スポーツ体験など、様々な催しをお楽しみいただきました。

今後も、皆様にとって利用者しやすい施設を目指してサービスの向上を図っていきますので、ご利用をお待ちしております。



ふれあいマルシェ、フリーマーケットの様子

新任職員紹介

岩手県社会福祉協議会に次の職員が配置されました。どうぞよろしくお願いいたします。

- 地域福祉企画部・生活支援相談室
小田島 里見 専門員 (10月5日付)